

(新)常磐・新幹線整備実現へ

三浦電気工事(株)



代表取締役社長

三浦 光博氏

速交通インフラの整備促進が重要な課題」と主張する。

JR常磐線が東京駅に乗り入れる今年を契機と考え、「東京駅からいわき駅を經由し仙台駅につながる山形新幹線並みの特急を整備する(復興)常磐・新幹線整備計画」の実現に向け、国・県・市・浜通り市町村協議会の取り組みを始めてほしい。各団体が「整備促進協議会」を立ち上げ、市は「整備調査室」を設置し可能性の調査を始めることが必要だ」と語気を強める。

都市計画を見直し、開発可能な地域要件の緩和策、東電の補償長期継続推進を図ることが必要。そのため、新たに企業と人材を集積すべきだ」と語る。

浜通り地区は税制特区の整備・制度化の必要性も訴え、「(新)常磐・新幹線整備計画、母都市構想、税制特区の整備・制度化の『三本の矢の計画』を実現し、浜通り地区の再生と活性化を目指していかねばならない」と復興への思いをはせた。

「復興(新)常磐・新幹線の整備を実現せよ」と訴える。東日本大震災から四年、各被災地では復興に向けた本格的な兆しが見え始めたが、浜通り地区においては他の被災地とは復興のスピードが異なる。原発事故の影響から復興が大幅に遅れており、復興に関する地域ビジョンの政策・策定もままならない現状を踏まえ「福島県は国際的な

観点から『地域復興と地域再生』や『福島原発三十年廃炉計画』、そして『地域除染計画』の動向に注目されている状況で、復興にはさまざまな支援が必要」と話す。

「地域再生や廃炉計画の推進には、膨大なマンパワーと頭脳・シンクタンクパワーを必要としている。その実現のためには廃炉計画推進最前線基地のいわき市と中央との高

地域再生については「いわきを中心とした『母都市構想』を各町村民と話し合い、『双葉地区との共生社会』を確立。実現のために国・県がインフラ整備の支援、



ME 三浦電気工事株式会社

- 本社・工場部 / いわき市好間町上好間字上野原 188
TEL (0246)47-0111 FAX (0246)47-0117
URL: <http://www.me-e.co.jp>
- 勿来営業所 / いわき市錦町綾ノ内 15
TEL (0246)63-5276 FAX (0246)62-7842
- 東京営業所 / 東京都江東区東陽 1-27-3 (北野ビル402号)
TEL・FAX (03)3615-3234

人生の目標設定は早めに

村田進学塾



塾長

村田 寿和氏

「塾生たちは日々努力を続けており、着実に個々のレベルが上がってきている」と教え子の頑張りを目を細める。東日本大震災直後は塾生が減った時期もあったが、最近はやや増加傾向にあるという。いわき市内で二十八年間、小・中・高校生

の学習・進学指導を行い、進学校を中心に毎年多数の合格者を輩出してきている。これまでの同塾を卒業した塾生は二千人以上にいる。

現在は、市内平の中央校と高等部、植田町の植田校、そして昨年新たに開塾した泉町の泉校がある。机に向かう塾生約三百八十人は目標を見据え、熱心にペンを走らせている。開塾以来、「一人ひとりに心のこもった教育を」を教育理念とし、

塾生に接している。一人一人のレベルに合った教育を実践する一方、「優秀な高校や大学に合格することだけが最終目標ではない。社会の役に立ち、必要とされる人材を育成することが必要だ」と話す。街中を歩くと、立派な社会人になった卒業生によく声を掛けてもらえる」と顔をほころばせている。

「当然、塾生と保護者が希望する進学先に進めるように手助けしていくことが学習塾の役目。本当は子どもたちが早い時期に高い目標を掲げ、準備を進めることが大切で、そのための努力を私たちは惜しまない」と受験シーズンを控え、気を引き締めた。

十年以上続いている恒例の『正月特訓』を今年も実施した。塾生は、正月三日を勉強漬けで過ごし、受験への心構えを新たに志望校に合格できることが何よりの喜び。スタッフ一同がやれるだけのことをする」と話し、塾生には「最後まで決して諦めず、悔いを残さないように努力してほしい」とエールを送っている。



小・中・高 進学指導

村田進学塾

本部事務局 / 〒970-8023 いわき市平鎌田字寿金沢47
☎0246(22)6812
URL: <http://murata-singaku.jp/>